

春夏 spring - summer  
2015

vol.  
**16**

# 春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53

横浜市教育会館 3F

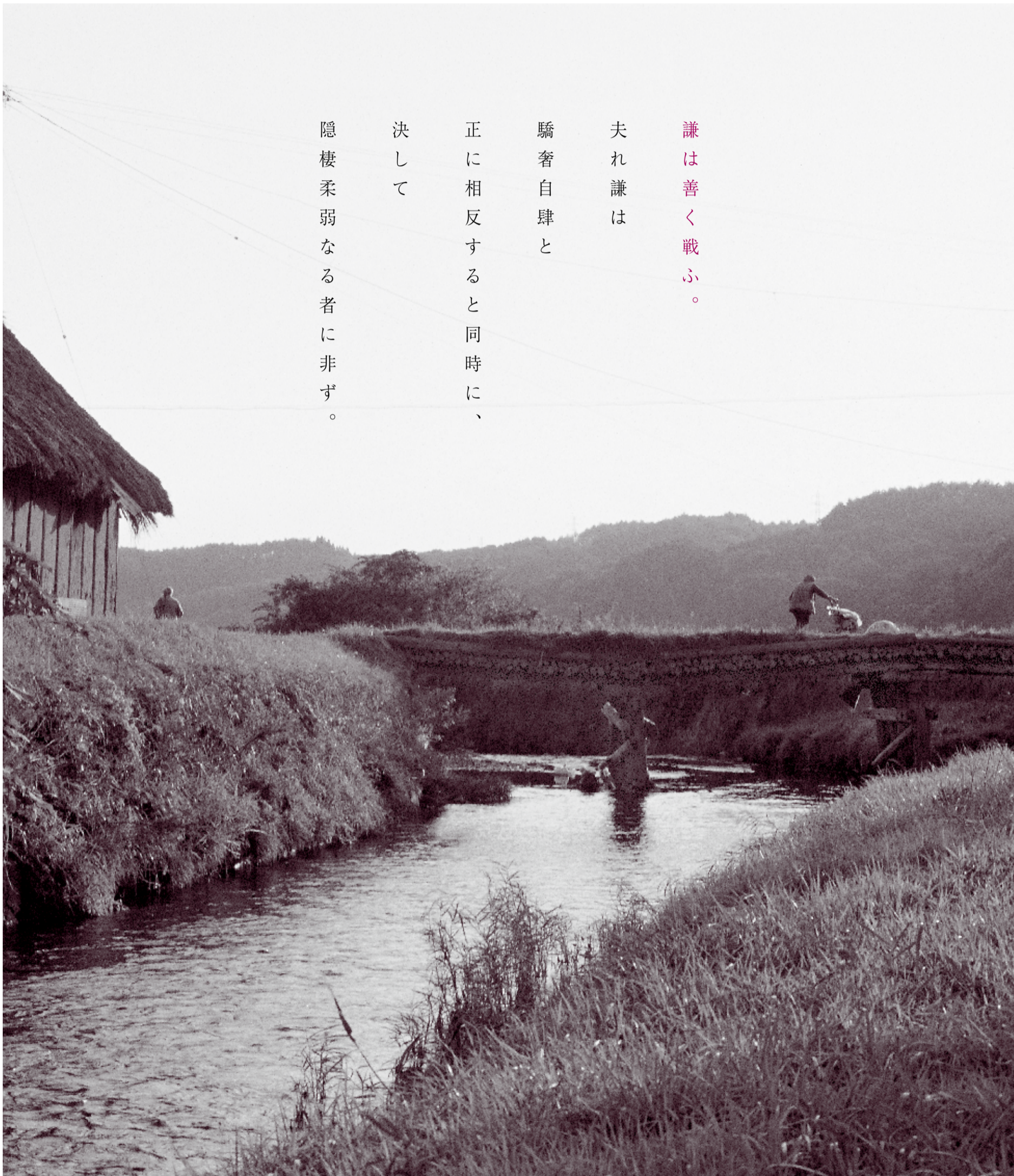
TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文芸評論 5 / 自然・健康 6 / 文学 6 / 写真・音楽・芸術 6 / 詩歌・俳句 7 / 観光 8 / 環境 8 / 横浜市立大学新叢書 8 / 立教大学人文叢書 8  
東洋英和女学院大学社会科学叢書 8 / 総記・辞典・事典 8 / 言語 9 / 心理 9 / 教育 9 / 政治・経済 10 / 社会・歴史 11 / 人類学 12 / シリーズ来たるべき人類学 12  
【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しがらみ 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10  
【コラム】 自著を語る 5 / 横浜 9 / 本屋に行こう 11



謙は善く戦ふ。  
夫れ謙は  
驕奢自肆と  
正に相反すると同時に、  
決して  
隠棲柔弱なる者に非ず。

春風社創業十五周年パーティ

# 「東北をさく」

## 講演

## 佐々木幹郎氏

二〇一四年九月二七日、弊社は横浜市教育会館にて創業十五周年パーティを催しました。

第一部では、詩人の佐々木幹郎氏に講演を、

続けて、津軽三味線奏者の二代目高橋竹山氏に公演をお願いしました。

今号の特集ページでは、佐々木氏の講演の記録をご紹介します。

## 春風社と三浦さん

春風社十五周年記念に際し、私の『東北を聴く 民謡の原点を訪ねて』（岩波新書、二〇一四年）と、橋本照嵩さんの『石巻』（春風社、二〇一四年）という東北の明るい力に満ちた写真集のイメージが、春風社の三浦社長の中でつながり、二代目高橋竹山さんの三味線の演奏と一緒に私がお話させていただくことになりました。

秋田往来』（春風社、二〇一〇年）という、彼のお父さんと、育った秋田についてのエッセイ集を出されています。その本が出る時、序詩を三浦さんに依頼されました。ゲラで最初に読み、私は感動しました。三浦衛さんと、一見すれば散文精神のかたまりとも思える人の、その精神の奥深いところに、ものすごくポエジーが溜まっているのです。

私はその本の序詩としてこんな詩を書きました。詩句のなかの東北弁の言葉やイメージの多くは『父のふるさと 秋田往来』から、そのままとっています。

## 東北へ

私も二代目高橋竹山さんも東北の出身ではありませんが、私たちは、三・一一のあと、一緒に東北地方に門付けの旅に出ました。

その二年前、竹山さんがお住まいの新潟県糸魚川市が、ユネスコが認定する「世界ジオパーク」に選ばれたことがあって、そのことを記念するために、私は竹山さんから「糸魚川ジオパーク音頭」という民謡の作詞を依頼されました。現代詩の書き手に民謡の歌詞を依頼するというのは、とても冒険的なことだと思

## うたの力

私のようなよそ者が「お話を聞かせてください」と言っても普通はま

ただけなのですが、そのとき、うたが力を発揮します。あらためて東北民謡と津軽三味線の力を知りました。『大漁唄い込み』であれ、『新相馬節』であれ、『牛方節』であれ、被災者の方たちの前で竹山さんが歌い出したとき、必ず唱和する人が出てくる。じいさんやばあさんが途中から手を叩き出し小さな声で歌い出

いと考え、被災者のいろいろな体験を聞きに回りました。これからも続けようと思っています。

うたはすごい力を持っています。言いましたけれども、では「うた」とは何でしょうか。漢字では「歌」と、二通りで書きますね。東北民謡などの場合の「民謡」という言葉は日本語としては非常に新しく、近代になってドイツ語や英語の訳語として定着したものです。それまでは、口偏に貝の「唄」と呼ばれていました。

きにもうたわれま。要するに、今の現実とは関係なくあらかじめ祝う、予祝のうたです。「大漁だエー」と何度何度も声でリフレインしているうちに、今はそうでなくても必ず未来には大漁がやってくるという思いが膨らんでくる。そして大漁を本

「唄」そして「うた」という日本語の語源について、藤井貞和という国文学者はこう解釈しています。うたという日本語は、うたげ、うたた寝うたて、などの「うた」と同根であり、それらのイメージは、夢幻とうつつ、幻と現実の、あつてないような境界を示しています。幻と現実の



写真：橋本照嵩

そんだったら、と言ったって

——三浦衛の秋田に寄せて

わたしの父の名は「進」一字です  
わたしの名は「衛」一字です

弟は「覚」これも一字

従兄弟たちの名も一字

一族はみな

「なした? なした?」

から始まる物語の中を生きてきました。

わたしのふるさととは 馬の腹のなかにあります

腹のなかには「ましゅぐなれ(臆病者)」の風がたまり

たまって たまって 稲の穂がなびき

穂が地図を描きつつ

秋の稲刈りを待っているのです

「そんだらご言ったって」

田植えのひとつもできにやくせに」

それなら 馬を呼んどくれ

男たち数人に囲まれて マサカリで眉間を割られて

倒れる馬の 空を切る足の先に

あるとき なぜ まぼろしが

ひとつ ふたつ 跳ねたのか

それがふるさと

「どおー」

「ばあー」

何度叫んでも 誰もいない

黒光りする廊下の先

母の寝床の蒲団のなかに

馬に食いちぎられた

弟の人差し指が落ちていて

蛍が飛ぶほど

殴りつけられた

ふるさとの 厚い手のひら

めまいのように

誰もいないのに

父のいびきが聴こえてくるのです

が伴奏してくださる機会も数多くありました。

三・一一の後、一緒に門付けをしました。天才的な津軽三味線奏者であ

った初代の高橋竹山が、大正から昭和の初め、彼の十代から二十代初め

にかけて、津軽から三陸地方まで、さらに三陸地方から北海道、樺太ま

で門付けを続けたということがあつたからです。

初代は竹山と名乗る前、高橋定蔵という本名で活動していました。昭和八年、彼が数人の盲目の芸人と一

緒に門付けの旅で岩手県の野田村の宿屋に泊つていた晩、三陸沖大地震

が起きました。大津波がやってきて、慌てふためいて玄関に出たとき、宿

屋の女中さんが芸人たちを坂道の上に押し上げてくれ、竹藪の竹をつか

みながら崖の上に登つてかろうじて助かりました。そのとき逃げられな

かった人は全員亡くなったそうです。二代目竹山さんは初代に弟子入りし

てからそういう話を何度も聞かされたそうです。

三・一一のあと、多くの著名なミュージシャンたちが東北でコンサ

ートを開きましたが、竹山さんと私はだれも行かない小さな仮設住宅の集

会所を回ろうと決め、地元の人に案内していただきました。最初に行つ

たのは二〇一一年九月のことでした。が、ホテルも民宿もとれませんでした。

被災者と復興のための工事の人たちでどの旅館も民宿も満室、道路

もどこまで通じているか分からない。そんななか、車の中で雑魚寝をしな

がら仮設住宅を回るつもりでした。それでも現地に行くと、地元の人が

ボランティアの方が宿泊している施設を紹介してください、そこを中

心に金石、大船渡、陸前高田を回つて公演することができました。わた

しが詩を朗読し、竹山さんが三味線を弾き、民謡をうたう。そして毎回仮設住宅の集会所や公民館での公演

ていく。それを繰り返して続けたので

たのです。うたで一旦、からだをひ

らかれると、三・一一以後、だれにも

もしやべつていないという話が自然

に口から出てきました。こんな話は

初めてすると言いながら、私たちに

は想像に絶する体験談を何人もの人

が語ってくださいました。

興味深いことに、被災したみなさん

はどなたも神話的な体験をされて

います。町全体が洪水で流される、

国全体が水に浸される、地球全体が

大洪水になるといふ、洪水伝説の神

話は全世界にいくつも残っています

が、三・一一はまさしくその神話構

造をなぞっていました。被災者のど

なたも、そのような洪水のなかで生

き延びた物語を経験されている。し

かし現地ではだれも同じような経

験をしているので、私たちのコンサ

ートのときまで、お互いに語り合う

ことはなかったようです。被災地を回りながら聞いた話をつ

ちようと境目、どちらが幻か現実な

のか分からない状態を「うた」状態

と古代の日本人は考えていたよう

です。

「うた」という日本語は、うたうこ

とによつて、魂を呼び求める、魂と

出会う、呼び込む、という状態が起

こつてくることを指しています。こ

れは古代人には当たり前のことで、

その感覚が失せたのは近代に入つて

からでしょう。古代、中世、近世と

ずっと、夢と現実の距離も境目もな

い状態が「うた」でした。魂と呼び

交わすのが「うた」状態であつて、

そのことが夢であるか現実であるか

はどつちでもよかつた。これが日本

語の「うた」の語源であるとする

ば、そのような「うた」状態は、気が

つけばいまも私たちのなかに残つて

います。

「うた」状態を現代の別の言い方に

換えると、「憑依する」ということ

「びりついているもの

「東北を聴く」とは、そういうこと

をもう一度確かめることであり、そ

れによつて、壊滅したふるさとを持

つ東北の人たちも、必ずふるさとを

つくれるということです。放射性物

質のため「ふるさととはなくなつた」

という人たちがいますが、声のマジ

カルパワーと予祝のうたの力を原点

に持つていけば、ふるさととはなくな

りません。そしてそれを通してふる

さとを新しくつくることは必ず可能

だと、東北を回つて思い、今も思っ

ています。

初代高橋竹山と一緒に三十年間ブ

ロデビューとして活動された佐藤

貞樹さんは、『高橋竹山に聴く 津

軽から世界へ』(津軽書房、二〇一〇年)

という聞き書きの本のなかで、ドイ

ツロマン派のノヴァーリスの詩を引

用しています。

すべての見えるものは見えないものに、

「付着」と訳された言葉は、ドイツ

語の原文では「こびりついている」

というニュアンスがあります。佐藤

貞樹さんはこれを初代高橋竹山の津

軽三味線の音色とうたのなかに感じ

取つていました。聞こえる音だけ

ではない、聞こえないもののなかに

こびりついているものに本物がある

感じられるものよりも、感じられな

いもののなかにこびりついているも

の、見えないもののなかにこびりつ

いているものから見えないものがある

初代高橋竹山の声と津軽三味線の

音にも、二代目高橋竹山さんの声と

三味線の音にも、聞こえないもの

のなかにこびりついているものが背後

にあります。そこには、共同体の死

者の霊があります。語り物から始ま

った津軽三味線の音色、そして、こ

とごとく声のマジカルパワーの世界

それがもう一度、東北に浮かぶ二万

の霊の魂を呼び求め、

そこと呼応し、新た

に今、生き残つて

いる私たちを力づけて

くれることを願つて、

二代目高橋竹山さん

の三味線の音色と声

を聞いてください。

どうもありがとうございます。

ございました。

こういうふるさとをお持ちの三浦さんが、十五年前に出版社を創業されました。東日本大震災以降は、出版というものがどう変わるべきか、そして震災をどう考え続けていくべきかということ、春風社の課題とし、理念とされています。



写真撮影：大嶋拓

(この後、二代目高橋竹山氏による津軽三味線の公演がおこなわれた)

哲学・思想・宗教



死生学

— 死の隠蔽から自己確信へ

岩崎大 (東洋大学研究助手および奨励研究員)

失われた死の実感、「隠された死」の現場で苦悩する人々……よりよく生きるために、死について考える。死生学の特徴・目的から医療現場での実践までを網羅。死生学によって生の質が変わり得ることを、鋭い哲学者が真摯に考察する。四六判上製・四一〇頁 定価(本体3982円+税) ISBN 978-4-86110-438-1

虚構の形而上学

— 「あること」と「ないこと」のあいだで

中村靖子 (名古屋大学教授 編)

意思を決定し選択する「主体」から、靖国神社の「神々」まで、実在と非実在の間を行きかう九つの刺激的論考。論者は、和田壽弘、坂本貴志、木俣元一、H・M・シユラルフ、中村靖子、安川晴基、戸田山和久、大平英樹、三浦俊彦の九名。四六判上製・四六〇頁 定価(本体3500円+税) ISBN 978-4-86110-436-7



新井奥邃著作集 (全十巻)

工藤正三 (新井奥邃先生記念会幹事)、コールダニエル (福岡女学院大学教授 共編 森有礼の指示により滞米。帰国後、田中正造や高村光太郎などの明治の知識人に深い感化を与えたキリスト教神秘主義者の全貌。(第一巻目切) 各巻 ¥6500

沈黙の向こう側—豊崎光一追悼集

豊崎令子 監修/岩崎誠、佐久間和男、中村裕、平山規子 編 没後二五年を記念、蓮實重彦氏、菅野昭正氏ほか、ゆかりの深い諸氏が思いを寄せる書き下ろしの追悼文に加え、病没当時発表された追悼エッセイ、書評を集める。 ISBN 978-4-86110-370-4 ¥3048

サルトルとマルクス

I 見えぬ「他者」の支配の陰に 北見秀司 (津田塾大学教授) フーコー、ドゥルーズ、デリダらの「後」のサルトルを読む。 I ISBN 978-486110-213-4 II ISBN 978-486110-214-1 ¥3333

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション

稲垣謙 (自治医科大学教授) 病を生きる患者の体験に接近するために哲学的思考を導入。人間の経験の未知の領域がたち現れる。臨床と現象学を結ぶ新たな哲学— ISBN 978-4-86110-303-2 ¥2381

ちいさな哲学

長谷川宏 (哲学者) 食、医療、身内の死などさまざまな日常の風景に隠れている真実をみつめる珠玉のエッセイ集。公害病に押しつぶされながら沈黙を強いられた水俣市民の姿を描く幻の論考を収録。 ISBN 978-4-86110-192-2 ¥1800

『方法叙説』をめぐる六つの試論—日本の思惟と西欧の思惟に介在する深淵

小林利夫 (小林利夫フランス語教室 創設者 著/徳永雅 (関西学院大学他兼任講師) 編) デカルトを読み直し、西欧の言語及び西歐人の思惟の根底に迫ろうとする画期的試み。 ISBN 978-4-86110-254-7 ¥3619

超越する実存—人間の存在構造と言語宇宙

柳次正和 (京都府立医科大学教授) 実存とは何か? 超越とは何か? 相互の関係を豊富な具体例から探る。従来の二項対立から抜け出し、実存と超越が交錯する新しいダイナミズムを示す。 ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて

谷口隆一郎 (聖学院大学教授) 絶対無と神—京都学派の哲学 小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) 京都学派とキリスト教—その接点。 ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333 ISBN 978-4-86110-393-3 ¥4600

長谷川宏



11 三人が社会の始まり

同じ屋根の下に暮らす長女一家に、この二月、三人目の子が誕生した。上の二人が男の子だったところに女の子が生まれたから、娘夫婦の喜びは一入だ。喜びのあまり娘は「男はもうたくさんだった」などと憎まれ口をたたき、咎め立てする気はしない。生まれて二か月に満たないが、乳呑み児はこんなにも思うほどに変わる。面長の顔が丸くなり、猿めいた顔が人間らしくなり、フンギヤー、フンギヤーの泣き声が大きく力強くなる。体重も3キロから4・5キロにふえて、長く抱いていると腰がだるくなる。たまさか居合わせた塾OB・OGの大学生にバトンタッチすると、赤ん坊を抱いたことのないかれらは、珍らしい小動物でも当てがわれたように緊張の面持ちで大事そうにかかえている。少し慣れると、だれの口からも「かわいいなあ」ということばが漏れる。赤子がかわいがられるのを見て、上の四歳と二歳の男の子は、かわいがりたくもあり、かわいがられもしたといったふうで、揺れ動くその言動がおもしろい。このところ急に行動的になった二歳の子は、赤子がベビーバ

スに入れられているのを見て、自分も入れてくれというかのように、いま普通の湯を出て着せられたばかりの服を自分で脱ぎ出し、まわりをあつと驚かせた。そんなしぐさがあちこちに見られて、三人の幼児の世界は、2たす1は3という算術計算を超えた広がりをもってこちらにせまってくる。男の子二人のときは二人が目前に並ぶ形でそのちがいが対立が見てとれたのだが、もう一人加わったとなると、三人のうち一人あるいは二人が背景となって、前景の二人あるいは一人を浮かび上がらせるような構図になる。そうすると、絵の背景が画面に奥行きをあたえるのに似て、三人の幼児の世界が二人の場合に比べて立体感のあるゆたかなものに感じられるのだ。三人目の誕生によって自分のふるまいにも奥行きが増したと実感しつつ、わたしは「三人が社会の始まり」ということばを噛みしめている。(哲学者)

聖霊の神学 小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)

キリスト教を聖霊の神学と「読む」。 ISBN 4-921146-81-0 ★ ¥7600

マハーバータとラーマヤナ 前川輝光 (亜細亜大学教授)

ヒンドウの二大叙事詩を新たな視点で。 ISBN 978-4-86110-365-0 ¥3000

新しい国家—海辺の別荘で教養と信仰と哲学を語り合う W・H・マロック 著/澤井勇訳

ISBN 978-4-86110-319-3 ¥2800

直接知の探求—西田・西谷・ハイテッカー・大拙 松丸壽雄 (獨協大学教授)

ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

思想のレクイエム—加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡 浅見洋 (石川県立看護大学教授)

ISBN 4-86110-068-2 ★ ¥3500

風についての省察—絶対無の息づかいをもとめて 松山康國 (関西学院大学名誉教授)

ISBN 4-921146-85-3 ★ ¥3333

異教の完成者—史的イエスをめぐる謎 波多野直人 (武蔵大学教授)

ISBN 978-4-86110-351-3 ¥3500

滝沢元吉を語る 三島淑臣 (九州大学名誉教授) 監修

ISBN 978-4-86110-206-6 ★ ¥3619

対話論神学の地平—私の巡礼のなから 延原時行 (元敬和学園大学教授)

ISBN 4-86110-081-X ★ ¥4286

犠牲と身代わり—記憶できないものをめぐって 長田陽一 (京都光華女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200

心理臨床と脱構築の経験—「他者」をめぐる 長田陽一 (京都光華女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400

小林秀雄とウイトゲンシュタイン 中村昇 (中央大学教授)

ISBN 978-4-86110-106-9 ¥2500

仮説法の倫理学—ホー・ハース・ハイテッカー 村上隆夫 (群馬大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600

同一性の形而上学—映画・SF・探偵小説 村上隆夫 (群馬大学名誉教授)

ISBN 4-86110-059-3 ★ ¥600

西田幾多郎—生命と宗教に深まりゆく思索 浅見洋 (石川県立看護大学教授)

ISBN 978-4-86110-185-4 ★ ¥3333

信仰の美学 阿部仲麻呂 (フレイズ会司会)

ISBN 4-86110-028-3 ¥9500

奥邃論集成 春風社編集部 編 若松英輔、中島岳志、中条直平、飯島耕一、竹内敏晴ら各界屈指の論客による『新井奥邃著作集』月報収載の珠玉の論考を一書にまとめ、その人と思想を多角的に照らし出す。 ISBN 978-4-86110-424-4 ¥2700

【新版】待つしかない、か。—身体と哲学をめぐって 木田元 (哲学者)・竹内敏晴 (演出家) 「じぶんと生きる」ために、われわれにできることはなにか。戦中戦後を駆け抜けた稀代の哲学者と演出家が遺した、絶望と希望のメッセージ。一〇〇二年既刊、待望の新版! ISBN 978-4-86110-420-6 ¥1800

哲学の挑戦 西日本哲学会 編 どんな時代、場所でも、もろい殻に包まれたかげがえのない魂が存在する限り、哲学はなくなることはない。今、何が問題で、どうすることが考えられているのか。豪華執筆陣による最前線での格闘の記録— ISBN 978-4-86110-335-3 ¥2800

朝鮮世祖纂述/河瀬幸夫 訳 一五世紀に発明されたハンゲルで記述された韓国独自の釈迦伝「釈語詳節」は韓国文学史上最高傑作と言われている。本邦初訳の全三巻、遂に完結— ISBN 978-4-86110-209-7/978-4-86110-363-6 ISBN 978-4-86110-271-4 各巻 ¥6500

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション 稲垣謙 (自治医科大学教授) 病を生きる患者の体験に接近するために哲学的思考を導入。人間の経験の未知の領域がたち現れる。臨床と現象学を結ぶ新たな哲学— ISBN 978-4-86110-303-2 ¥2381

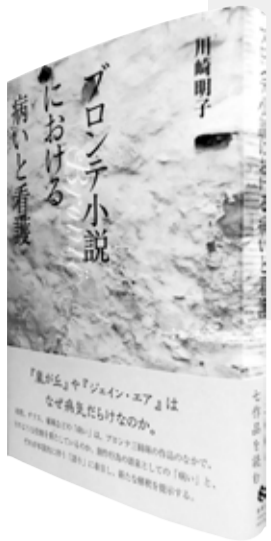
超越する実存—人間の存在構造と言語宇宙 柳次正和 (京都府立医科大学教授) 実存とは何か? 超越とは何か? 相互の関係を豊富な具体例から探る。従来の二項対立から抜け出し、実存と超越が交錯する新しいダイナミズムを示す。 ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて 谷口隆一郎 (聖学院大学教授) 絶対無と神—京都学派の哲学 小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) 京都学派とキリスト教—その接点。 ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333 ISBN 978-4-86110-393-3 ¥4600

対話論神学の地平—私の巡礼のなから 延原時行 (元敬和学園大学教授) ISBN 4-86110-081-X ★ ¥4286

犠牲と身代わり—記憶できないものをめぐって 長田陽一 (京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200

心理臨床と脱構築の経験—「他者」をめぐる 長田陽一 (京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400



ブロンテ小説における病いと看護

川崎明子 (駒澤大学准教授)  
『嵐が丘』や『ジェイン・エア』の登場人物はなぜ病人だらけなのか？ 結核、チフス、痛風などの「病い」がブロンテ三姉妹の作品のなかで果たしている役割を問いつつ、創作行為の源泉としての「病い」と、それが本質的に伴う「語り」に着目し、新たな解釈を提示する。  
四六判上製・三三三頁 定価(3,500円十税)  
ISBN 978-4-86110-427-5

秘密のラティガン

戦後英国演劇のなかのトランス・メディア空間  
大谷伴子 (東京学芸大学講師)  
イギリス演劇からハリウッド映画まで、ヒット作から意欲的な社会派まで。様々なメディア・ジャンルを行き来した作品を、グローバルな枠組みで解釈。演劇史から忘れ去られた劇作家が秘めていた魅力とは？ 戦後英米で活躍したラティガンを再評価する。  
A5判並製・三〇頁 定価(2,700円十税)  
ISBN 978-4-86110-448-0



イギリス イメージ横断―表象と文学  
栗田圭治・田原光広・吉本和弘 編  
ISBN 978-4-86110-278-3 ¥3333

明治大正露文化受容史―二葉亭四迷・相馬黒光を中心に 小林美 (十文字学園女子大学短期大学部准教授) ISBN 978-4-86110-219-6 ¥6476

永井荷風 ソライズムの射程―初期作品をめぐって 林信蔵 (京都大学非常勤講師) ISBN 978-4-86110-222-6 ¥3619

名刀中条スバハバハン!!! 中条省平 (学習院大学准教授) ISBN 4-921146-90-X ¥2800

アントニオ・タフキ 反復の詩学 花本知子 (京都外国語大学講師) ISBN 978-4-86110-358-2 ¥3000

Bowulf 橋本修一 (千葉工業大学准教授) ISBN 4-86110-060-7 ¥2000

カズオ・イシグロ『日本』と『イギリス』の間から 莊中孝之 (京都外国語短期大学准教授) ISBN 978-4-86110-255-4 ¥3000

乱読すれど乱心せず―ヤスケンがえらぶ名作50選 安原顯 (スーバーエディター) ISBN 4-921146-67-5 ¥1800

『ヘーオルフ』とその周辺―忍足欣四郎先生追悼論文集 唐澤一友 (駒澤大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-190-8 ¥8000

古代歌謡と南島歌謡―歌の源泉を求めて 谷川健一 (民俗学者) ISBN 4-86110-058-5 ¥2400

なぜ男は笹野鏡子を喪れるのか 海老原暁子 (元立教女学院短期大学准教授) ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381

樋口葉―物語論・言語行論・ジェンダー 笹川洋子 (神戸親和女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-348-3 ¥4000

ほくの交遊録 岡井隆 (歌人) ISBN 4-86110-044-5 ¥2800

インタビュ―現代短歌―うた・ひと往来 及川隆彦 (短歌往来 編集長) ISBN 4-86110-066-6 ¥2857

ラファディオ・ハーンとジェイムズ・トムリン―『四季』をめぐって 先川暢郎 (元拓殖大学准教授) ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333

新版 文学のつむぎ十字架 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部准教授) ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800

小出龍重と谷崎潤一郎―小説『夢喰ふ虫』の真相 小出龍太郎・明里千章・荒川朋子 ISBN 4-86110-084-4 ¥2500

小出龍重―光の憂鬱 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部准教授) ISBN 4-921146-34-9 ¥2200

ちよつと、教養―20代女性のための芸術案内 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部准教授) ISBN 4-86110-008-9 ¥1600

民話の森の歩きかた 樋口淳 (専修大学准教授) ISBN 978-4-86110-273-8 ¥2381

テクストの思考―日本近現代文学を読む 林浩平 (詩人・恵泉女学院大学特任教授) ISBN 978-4-86110-253-0 ¥3048

ヘンリー・フィールディング伝 澤田孝史 (東京国際大学准教授) ISBN 978-4-86110-231-8 ¥4286

古英語詩を読む―ルーン詩からヘーオルフへ 吉見昭徳 (明治学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-135-9 ¥4000

ルーン文字の探究 ラルフ・W・V・エリオット著 吉見昭徳 (明治学院大学准教授) 訳 ISBN 978-4-86110-183-0 ¥4286

オーウェル文学の源流を求めて―その想像的創造力の源泉 高橋鍾 (宮崎大学准教授) ISBN 978-4-86110-170-0 ¥2800

Essays on Dickens, Forster, Austen: A Japanese Reader's Appreciation 藤田永祐 (獨協大学准教授) ISBN 978-4-86110-388-9 ¥3000

ディケンズ、フォスター、オースティン―いまに生きるイギリス小説 藤田永祐 (獨協大学准教授) ISBN 978-4-86110-154-0 ¥2200

平家物語―装置としての古典 高木信 (相模女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-139-7 ¥4600

英詩に魅せられ―エリオットからライキンまで 堀田三郎・犬飼誠 共編 ISBN 978-4-86110-305-6 ¥2476

ピースの丘から―友、旅、暮らしの歳時記 山口弘恵 (武蔵野大学准教授) ISBN 978-4-86110-186-1 ¥1800

中世英語文学―その言語・文化の特徴

菊池清明 (立教大学准教授) 『カンタベリー物語』 『ガウエイン卿と緑の騎士』 『梟とナイチンゲール』 など一四世紀イギリスの作品を多面的に読み解き、『音の文学』としての中世英語文学の魅力を現代にゆみながら伝える。  
ISBN 978-4-86110-428-2 ¥4500

名著革命とイギリス文学―新しい言説空間の誕生

富樫剛 (フリス女学院大学准教授) 編  
従来のイギリス文学研究では取り上げられることが少なかった十七世紀末から十八世紀初めに焦点を当て、政治と文学の両面からアプローチすることで当時の社会像を提示する画期的論集。  
ISBN 978-4-86110-412-1 ¥3000

幻想と怪奇の英文学

東雅夫 (アンソロジスト、評論家)、下楠昌哉 (同志社大学准教授) 編 ジェイムズ・ホッグからアンジェラ・カーターまで、気鋭の英文学者が論じた幻想文学の本格的な研究・批評の集成。巻末には「ブックガイド」を収録。  
ISBN 978-4-86110-404-6 ¥2700

トルストイと生きろ

藤沼賢 (早稲田大学准教授) ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762

戸籍の謎と丸谷才一

ソーントン不破直子 (日本女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-381-1 ¥1800

失われたバリエーションを求めて―マルセル・ブルースト

が生きた街 アンリ・ラクシモフ 著 吉川佳英子 岩野卓司 訳 ISBN 978-4-86110-236-3 ¥2000  
ミルワード氏の英文学散歩―ルネッサンスから現代へ ビーター・ミルワード 編著 橋本修一 訳 ISBN 978-4-86110-167-0 ¥1800  
乱歩彷徨―なぜ読み継がれるのか 紀田順一郎 (評論家・作家) 「人間乱歩」に迫る。 ISBN 978-4-86110-284-4 ¥1905  
作品は「作者」を語る―アラビアン・ナイトから丸谷才一まで ソーントン不破直子・内山加奈枝 編著 ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857

AUTHOR

自著を語る

岩崎大『死生学 死の隠蔽から自己確信へ』



小学校三年のときだったでしょうか。母の隣に寝ていたときに考えたんですね。「死んじゃうんだ。しかも、ぼくより先に、横にいる母親が死んでしまう」そう思った居ても立ってもいられなくなりました。すごく怖くなって「どうしたらいいんだろう？」と。そのころは、親も含め、おとなというのは完全な存在で、何でも知っていると思っただけだったので、いつか死が訪れるのに、どうして平気であられるのだろうと不思議に感じ、「きつと、みんな考えるのを止めたんだろうな」と思いました。

このままでは嫌だし、だからといって死をないがしろにできない自分もいました。一方で、みんな死に対して「怖くないよ」とか「興味ないよ」と言う。しかし、本当にそうなのか。今の時代、死というものに対して実感がわからないから怖くない、あるいは死別をあまり体験したことがないから興味がない……そのような世の中のニーズに添えて、実際の死の現場でもなるべく死を隠そうとしているだけではないのか。

それで死の恐怖がなくなればいいのですが、それは人間としてどうなのか。哲学は、よく生きるためのものですが、その意味で、死を忘れて生きることが、よく生きることになるのかということ、そうではないはず。死という、ヤスパースの言葉でいう「限界状況」を意識してこそ、よく生きることになるのではないかと考えました。

医療現場、とくに終末期医療の現場にいる患者、家族、医療従事者などは、自分がどうすればいいのか、どういう関係を構築していけばいいのかということ深く悩んでおられる。こうした、死にゆく人とその周囲の人々が、死に対してどう向き合えばいいのかということを考える上でのヒントを与えられればと願っています。それが、ひいては一般の方々の参考になるのではないのでしょうか。

(4頁に本の紹介)

啓蒙と反動

- 青地伯水 (京都府立大学教授 編) ISBN 978-4-86110-362-9 ¥2000
- Decoding Paul Muldoon: Poetics and Politics 奥田良二 (東海大学教授) ISBN 978-4-86110-176-2 ¥2500
- 虫皇素羅—古典に見る日本人の心象 岩下均 (目白大学教授) ISBN 4-86110-004-6 ¥2800
- 神の箱—ダビデとその時代 (磯部隆 (名古屋大学名誉教授) ISBN 4-86110-036-4 ¥2800
- 荒野へ 鮎川信夫と「新領土」 中井晨 (同志社大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-096-3 ¥3333
- こんにちにはチエホフ—三つの短編を訪ねる 村手義治 (元創価大学教授 編訳) ISBN 978-4-86110-279-0 ¥2000
- 龍の星霜—異端の劇作家青江舜一郎 大嶋拓 (映画作家) ISBN 978-4-86110-274-5 ¥1500
- 法隆寺 青江舜一郎 (劇作家) ISBN 978-4-86110-225-7 ¥2800
- 鷗外・漱石—ラディカリズムの起源 大石直記 (明治大学教授) ISBN 978-4-86110-175-5 ¥5600
- 長塚節「土」—鈴木大拙から読む 安田速正 (農業従事者) ISBN 978-4-86110-252-3 ¥2200
- 見えないものを見る力—ケルトの妖精の贈り物 風呂本武敏 (元愛知学院大学教授) ISBN 978-4-86110-094-9 ¥2190
- マリ—ダグー—19世紀フランス伯爵夫人の孤独と熱情 坂本千代 (神戸大学教授) ISBN 4-86110-042-9 ¥2200
- 気功瞑想でホッとする 朱剛 (禅密氣功師) ISBN 978-4-86110-189-2 ¥1800

自然・健康

- コバタンの繁殖—絶滅危惧種保存への挑戦 石川文也 (日本鳥学会会員) 環境破壊と乱獲によって激減したコバタン。種の保存のための方策、そして問題点とは何か? これまで明かされてこなかった繁殖の様子を詳細に記す本邦初のコバタン専門書! ISBN 978-4-86110-195-3 ¥2800
- 背骨ゆらゆら健康法—自分でできるお手軽気功術 朱剛 (禅密氣功師) ISBN 978-4-86110-127-4 ¥1200

文学



**鎌倉三猫物語**  
 ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) 著  
 小町、タマ吉、みなみが行く。四季折々の中で繰り広げられる三猫の小さな冒険。学者一家と暮らす猫たちが隣猫と出会ったり、長歌を詠んだり、ときには鳥を仕留めたり…かわいくて、リアルで、ちよつとこわい日常。  
 A5判上製・一六五頁 定価 (本体1500円+税)  
 ISBN 978-4-86110-430-5

**エドワード・トマス訳詩集**  
 吉川朗子 (神戸市外語大学准教授) 訳  
 古きよきイギリスの美しい田園風景と、当時の人々を詩情豊かに描き出す七〇篇。経済的不安や鬱に悩まされながらも創作をつづけ、志願兵として第一次世界大戦に出征、戦死したトマスの詩をテーマ別におさめる。本邦初の訳詩集!  
 四六変型判上製・二四六頁 定価 (本体2000円+税)  
 ISBN 978-4-86110-429-9



**お爺ちゃんと大砲**  
 オタ・フィリップ 著 / 北岡武司 (岡山大学名誉教授) 訳  
 大砲の技師だったお爺ちゃんは僕に日記を残して旅立った。大戦前後のチェコを舞台に戦争や運命に翻弄される人々を描く。一九八一年に発表された小説、初の邦訳。  
 ISBN 978-4-86110-446-6 ¥2500

**小作人とアサラシ女—スコットランドのいいつたえ**  
 ジュディ・ハミルトン 著 / 先川暢郎 (元拓殖大学教授・橋本修一 (千葉工業大学教授) 訳  
 ケルト的想像力がありなす、冒険と不思議と勇気にあふれる、めくるめく物語世界!  
 ISBN 978-4-86110-408-4 ¥1500

**クリス・ホルディック選ゴシック短編小説集**  
 石塚則子 (同志社大学教授) 他 編訳 / レ・ファニユ、シユウオツプ、カーターなど、一八世紀から二〇世紀までの三三編を訳出。ゴシック小説の系譜を一望できる最良のアンソロジー。日夏耿之介によるポーの抄訳も収録。  
 ISBN 978-4-86110-298-1 ¥3500

**ことばのポトラック**  
 大竹昭子 (作家) 編 3・11以後、詩人、作家、写真家が東京のライブハウスに「持ち寄り(ポトラック)」、発表した新作詩・エッセイ・小説・写真のアンソロジー。谷川俊太郎、ル・クレジオ、岡井隆ほか豪華な執筆陣!  
 ISBN 978-4-86110-310-0 ¥1800

**愉しみは最後に—二人のひどく不器用な自殺志願者の往復書簡**  
 パトリス・ルコント、ダヴィッド・デカンヴィル 著 / 桑原隆行 (福岡大学教授) 訳  
 入院先で知り合った自殺志願者二人が、知恵をしばって珍妙な自殺方法のアイデアを競い合う…。コミカルな書簡体小説。  
 ISBN 978-4-86110-418-3 ¥1800

**エルビー・メルゲンと七つの太陽—モンゴルのいいつたえ集**  
 塩谷茂樹 (大阪大学教授) 編訳 / Ya・バダムハン ド (日本学術振興会外国人特別研究員) コラム執筆  
 遊牧民が古くから語りついできた10のお話。総ルビで子どもも大人も楽しめる!  
 ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600

**最後の光が 僕から消え 残ったのは 君の笑い 僕らの思い出 君の涙の跡**  
 最後の光が 僕から消え 残ったのは 君の笑い 僕らの思い出 君の涙の跡

翻訳ピンチ! 中条省平 SHOHEI CHUJO

15 「僕」なんていない?

『狭き門』の新訳がようやく本になりました (光文社古典新訳文庫)。今回は妻・志穂との久々の共訳で、手順は昔と同じく、第1稿は妻が仕上げ、私が手直しして第2稿としました。今回の翻訳は今野哲男さんのリクエストによるものでした。今野さんは「翻訳の世界」という外国文学好きには忘れられない雑誌の名編集長だった方です。

サンプルとしてこの第2稿の冒頭を見てももらったところ、今野さんからダメが出てしまいました。問題のひとつは、一人称代名詞の「僕」が多すぎることでした。

当然のことながら、一人称で書かれた『狭き門』には je (私、僕…) が頻出します。ずいぶん削ったつもりでしたが、不要な「僕」が残っていたのです。それが、初めから日本語で読む今野さんには鬱陶しかったのでしょうか。翻訳している最中に、日本語的な一人称の感覚が麻痺して、フランス語原文の je に引っぱられてしまったわけです。

その後、『狭き門』をめぐる、小説家の辻原登さんとお話する機会を与えられました。初めて会う辻原さんは69

歳ですが、じつに若々しく、田村高廣を思わせる整った顔立ちに、歌舞伎の女形のようなフェミニンな色気をまぶした美貌で驚いてしまいました。それはともかく、辻原さんに率直に一人称の問題を尋ねてみました。

すると辻原さんは、日本語で「私」や「僕」なしで小説を書き上げるのは簡単だということです。しかし、それゆえに、たとえ三人称で書かれたように見える小説でも、メタレベルには一人称が存在しているため、いちいち主語を「私」や「彼」や非人称で限定しなければならぬ欧文よりも、日本語の一人称的性格は強いかもしれない、と目から鱗の指摘をしてくれました。

いつの日か、一人称で書かれたフランス語の小説を、いっさい「私」や「僕」の出でこない日本語に翻訳するというアクロバットを成功させてみたいと思いました。

(仏文学者)

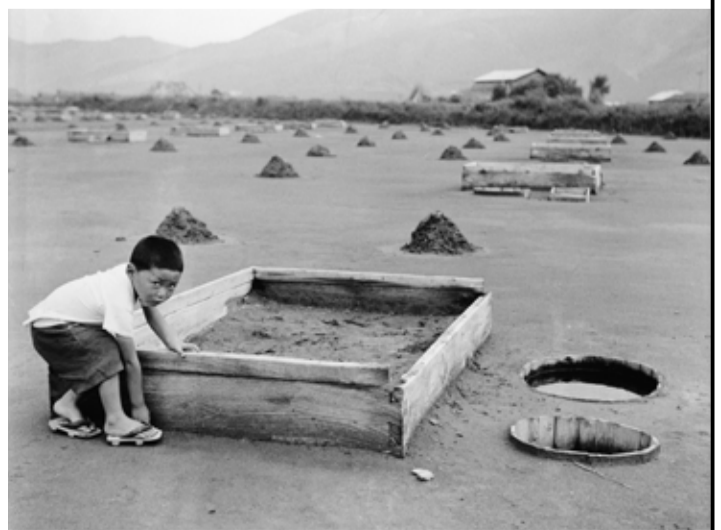


イラスト: たけなみゆうこ

写真・音楽・芸術



**新版 北土川 橋本照嵩**  
 立松和平氏 (作家) 推薦「近年の収穫といえる写真集である」。東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市。石巻出身の人物写真家が、昭和三〇〜四〇年代のふるさとの原風景と人々の暮らしを、深い愛情と洞察をもって写し撮った。二〇〇五年刊の旧版に撮影場所と年月、英文対訳を加えた新版。  
 B5変型判・二二四頁 定価 (3500円+税)  
 ISBN 978-4-86110-441-1



長唄の世界へようこそ—読んで味わう、長唄入門 細谷朋子 (十文字学園女子大学短期大学部 有期助手) ISBN 978-4-86110-400-8 ¥2400

**フアニー・メンデルスゾーンIIヘンゼル**  
 時代に埋もれた女性作曲家の生涯  
 ウテ・リュヒター・レーマー 著  
 高原勇 (名古屋大学教授) 監訳 / 米澤孝子 (演奏家・指揮者) 訳  
 ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800

**ドアの映画史—細部からの見方、技法のリテラシー**  
 吉田暁 (京都産業大学教授)  
 ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800

アイリッシュ・ハーブの調べーケルトの神話集  
 マリー・ヒーニー著／大野光子監修／河合利江・河口和子訳 囚われの姫、邪悪な巨眼の魔王、知恵の鮭、神々の壮大な闘争。ファンタジーの源泉「ケルト神話」を、やさしい物語に。矢萩多聞の美しい装画で贈る。  
 ISBN 978-4-86110-124-3 ¥1800

スウェーデン民話名作集 全4巻  
 数下絨一(元駒澤大学教授) 訳 人々のさだめと神の救い、魔女や動物たちがおりなす魔法と幻想の世界。(IIは品切重版未定)  
 I ISBN 978-4-86110-246-2  
 III ISBN 978-4-86110-339-1  
 IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻¥1905

人生の請求書  
 石橋幸子(春風社専務)  
 ISBN 978-4-86110-410-7 ¥1300

カフェの女主人  
 レイモン・ジャン著／桑原隆行(福岡大学教授) 訳  
 ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200

モーツァルトの息子  
 ジャック・トゥルニエ著／高井道夫(元上智大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-242-4 ¥2200

パリの小鳥売り  
 ロベール・ブラジャック著／高井道夫(元上智大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-250-9 ¥2200

リヴァ・ペラ バトリス・ルコント著／桑原隆行(福岡大学教授) 訳 名監督による誘惑に満ちた小説。ISBN 978-4-86110-280-6 ¥1905

ショートカットの女たち バトリス・ルコント著／桑原隆行(福岡大学教授) 訳  
 ISBN 978-4-86110-277-6 ¥2000

空にあがったハイエナー ケニア・キクユの民話集 杜由木  
 ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600

カレワラ物語ーフィンランドの国民叙事詩  
 キルステイ・ブキネン著／荒牧和子 訳  
 ISBN 4-86110-034-8 ¥1800

愛の叙事詩 ハルダイヤン物語 ミシエル・ゼヴァコ著／鈴木悌男(神戸松蔭女子学院大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-223-3 ¥2800

フォーの国のことはーベトナムを学び、ベトナムに学ぶ 富田健次(元大阪大学教授)  
 ISBN 978-4-86110-352-0 ¥1905

横浜の時を旅するーホテルニューグランドの魔法 山崎洋子(作家)  
 ISBN 978-4-86110-296-7 ¥1600

魔術師のたいこ  
 レーナウラヤイネン著／荒巻和子 訳  
 ISBN 4-86110-294-3 ¥1500

みらいのゆくえ  
 しりあがり寿(漫画家)  
 ISBN 978-4-86110-294-3 ¥1600

マハーヴァキナまたは巫山の夢  
 三浦衛(春風社代表)  
 ISBN 978-4-86110-342-1 ¥1957

父のふるさとー秋田往來  
 三浦衛(春風社代表)  
 ISBN 978-4-86110-243-1 ¥1905

出版は風まかせーおとほけ社長奮闘記  
 三浦衛(春風社代表)  
 ISBN 978-4-86110-193-9 ¥1300

南海物語  
 ジャック・ロンドン著／深沢広助 訳  
 ISBN 4-86110-070-4 ★ ¥2600

ヨコハマ ヨコスカ 暮末 ハリ飯島耕一(詩人)  
 ISBN 4-86110-040-2 ★ ¥2800

気がつけばアメリカ人ー二つの祖国に生きて  
 蒲生靖子  
 ISBN 978-4-86110-392-6 ¥1500

わしといくらケルティーン  
 マリー女王著／長井那智子(エッセイスト) 訳  
 ISBN 978-4-86110-153-3 ¥1800

弟はフェリックス・メンデルスゾーン。女性に創作活動が許されなかった時代、溢れる才能と意欲に恵まれながらも、弟の陰に隠れていた女性作曲家がいた。肖像画などの豊富な図版と自筆の手紙、日記から才女の生涯と作品を紹介する。年表付。  
 四六判並製・二四八頁 定価(2300円十税)  
 ISBN 978-4-86110-421-3



映画はやめるーバトリス・ルコント、自作を語る バトリス・ルコント著／ユベール・ブロンジョ聞き手／桑原隆行 訳 映画ファン必携の書。本邦初訳！傑作を生み出したつづけてきた巨匠バトリス・ルコントが映画にかける思いをインタビュー形式で語る。  
 ISBN 978-4-86110-433-6 ¥3800

石巻2013.27ー2014.5.29  
 橋本照嵩(写真家)  
 宮城県石巻市出身の写真家が三年にわたり、震災後の故郷を撮影。被災地に住む家族、仮設住宅、現地の行事などのモノクロ写真一七〇点と撮影日誌。  
 ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500

クジラ解体  
 小関与四郎(写真家)『九十九里浜』の写真家による迫真のドキュメンタリー！和田浦・九十九里浜(千葉)、太地(和歌山)、鮎川(宮城)と二年にわたってクジラと共に生きる人々と暮らして撮影。モノクロ写真一二一点。  
 ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000

九十九里浜  
 小関与四郎(写真家)はたらくとは。生きるとは。九十九里で生まれ育った著者が半世紀にわたり撮りつづけた。昭和三〇〜四〇年代を中心に、日本の原風景が甦る。時代のうねりのなかでたくましく生きる人々を活写。  
 ISBN 4-86110-012-7 ★ ¥15000

フルナン・レジェ オブジェと色彩のユートピアーキュービズムからフランス人民戦線まで  
 山本友紀(京都造形芸術大学ほか非常勤講師)  
 抽象絵画、版画、舞台芸術、映画、建築装飾など多彩なレジェの創作活動を、歴史・社会・政治と関連づけながら分析・考察する。  
 ISBN 978-4-86110-405-3 ¥4500

かほちゃの下でーウガンダ戦争を生きる子どもたち 桜木奈央子(写真家) 写真・文／伊藤氏貴 ISBN 978-4-86110-259-2 ¥1800

世界写真紀行ー美しい自然と文化を訪ねて(海外編・国内編) 渋谷興一  
 ISBN 978-4-86110-409-1 ¥3500

風の想いー奈津  
 松永澄夫(立正大学教授) 四季の移ろうなか、二人は弾み、揺れ、やがて訪れる別離の予感に震える。哲学者が書いた、せつない詩。小説。歌手・小椋佳氏、フリーアナウンサー・山根基世氏推薦。  
 ISBN 978-4-86110-378-0 ¥1500

選遊  
 岩田澄江「私は大空を仰ぐことを忘れまい」。劇的な「選遊」を果たしたキリスト教信仰を支えに語りつづける。「女性の日々」のよここび、悲しみに、希望……。祈りにも似た静謐な三四篇を収める第一詩集。  
 ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952

風景は光に揺れて  
 土屋千鶴(専門学校講師)「土屋作品では、人間と風景とは正面から互角に対峙している。風景が人間と同じような、生き物の一つとして対象化されている」ともいっていい(岡部史)。時を超えた風景の軌跡を大胆かつ繊細に紡ぐ。  
 ISBN 978-4-86110-293-6 ★ ¥1429

深読み映画論ー「暗い日曜日」の記憶  
 大野真(大妻女子大学教授)  
 ISBN 978-4-86110-198-4 ¥1905

ただしいジャズ入門  
 中条省平(学習院大学教授)  
 ISBN 4-86110-057-7 ¥1600

たのしいジャズ入門  
 寺島靖国(ジャズ喫茶「メグ」店主)  
 ISBN 4-86110-056-9 ¥1600

ドイツ・ロックの世界  
 若山俊介(元宇都宮大学教授)  
 ISBN 4-86110-074-7 ★ ¥1800

アンヘリカの選択  
 丸岡永乃(画家・詩人)  
 ISBN 978-4-86110-337-7 ¥1800

君にシロツメクサの冠を  
 丸岡永乃(画家・詩人)  
 ISBN 978-4-86110-336-0 ¥1200

ハブに染めるぜー天才ジャズ本  
 安原顯(スーパーエディター)  
 ISBN 4-921146-62-4 ¥2800

フランス・ミュージカルへの招待  
 渡辺諒(早稲田大学教授)  
 ISBN 978-4-86110-344-5 ¥2000

邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録  
 松菱多津男(芸芸会会長)  
 ISBN 978-4-86110-276-9 ¥4600

OTHER VOICES 東大全共闘・68ー70  
 平沢豊(編集者)  
 ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

詩集 獲のパン  
 ひとりのぼる  
 生るときが澄み、したたる言葉が詩となる。ゆたかなときへ誘う詩群。サトウハチロー「木曜手帳」で詩を学んだ著者の、『獲の昼寝』『獲の散歩』に続く、獲シリーズ三作目。  
 ISBN 978-4-86110-270-7 ¥1300

山桜花  
 廣利千恵子  
 「再びの会いは叶わず病窓に広がる敵傍の山桜花」重症心身障害児の養護教育に携わってきた著者が、病に侵されながらも、教育への情熱と生命への畏敬を詠いつづけた遺作歌集。  
 ISBN 4-86110-077-1 ¥1429

しりあがり寿



mini 帰ってきた大河 14 港巻 出陣

奥中沢の叛乱を平定し、吉兼と康秀の二人は無事城に帰還した。「これで我が国の憂いは除かれたな、これにて一件落着だ」「いや、ここからが長いだよ」「えっ?」  
 広間では領主黒刀豪正が皆を前に立っている。老いたるとはいえ堂々たる体躯、昔日の勇猛ぶりがしのばれる。と、いきなり豪正が立ち上がり「出陣じゃ! 奥中沢を討て!」  
 「殿、鎧を召す前に小用を足されたほうが…」  
 「間に合わないだ!」  
 二人は目を合わせた  
 「殿が?」「うむ、少々ボケがな…」と、そこで豪正がまた立ち上がり「出陣じゃ! 奥中沢を討て!」  
 「殿、奥中沢はすでに平定いたしました…」  
 「じゃあ…」  
 「間に合わないだ!」  
 吉兼が耳打ちする「加えて殿はずぶる頻尿であらせられてな」  
 康秀「…」  
 「出陣じゃ! 奥中沢を討て!」 「殿…すでに奥中沢は…」  
 「じゃあ…」  
 「出陣じゃ! 奥中沢を討て!」  
 「じゃあ…」  
 「出陣じゃ! 奥中沢を討て!」  
 「じゃあ…」  
 確かにここからが長かった。

観光

突撃！よこはま村の100人―自転車記者が行く
佐藤将人(神奈川新聞記者) 神奈川新聞に好評連載中のコラムが一冊の本になった！笑い

- 観光地の賞味期限―「暮らしと観光」の文化論 古池嘉和(富山大学教授) ￥1800
にきわい文化と地域ビジネス 相原憲一(元静岡大学教授) 編 ISBN 4-86110-021-6 ￥1800
おはさんベトナム留学記 中嶋弘子 ISBN 978-4-86110-297-4 ￥1500
おはさん！辺境を行く 外川洋子 ISBN 978-4-86110-100-7 ￥1500
おはあちゃん！世界遺産を行く 外川洋子 ISBN 978-4-86110-249-3 ￥1500
おはあちゃん一豚となって木に登る 外川洋子 ISBN 978-4-86110-398-8 ￥1500
山ふたり―鈴鹿・大峰・四国・山陰編 三輪敏広・三輪和恵 ISBN 978-4-86110-382-7 ￥2000

イギリスの田舎を歩く

ピーター・ミルワード 著／橋本修一(千葉工業大学教授) 訳 のどかな風景のなかを歩き、大聖堂をじっくり見学し、パブ料理に舌鼓を打つ。美しい挿画とともに、観光客の知らないことごとくおきのイギリスをご案内します。
ISBN 978-4-86110-311-7 ￥1429
日本初の海外観光旅行―九六日間世界一周 小林健(明海大学教授) ISBN 978-4-86110-178-6 ￥3200
瀬戸内、鳥獣の旅―風景の奥を読む 伊藤松雄(四国学院大学教授) ISBN 978-4-86110-360-5 ￥1800

環境



農の6次産業化と地域振興

熊倉功夫(静岡文化芸術大学学長) 監 米屋武文(静岡文化芸術大学教授) 編 「作るだけの農業」から「消費者と向き合う積極的な農業」へ。経済・経営から心理学、和食文化にいたる幅広い分野の研究者・実践者一五人が実例を紹介。日本農業の持続的発展のために2次、3次を超えたあり方を模索する。
A5判上製・三六四頁 定価(本体2750円+税) ISBN 978-4-86110-437-4 ￥3000

富士山への招待―NPOが富士山と地域を救う 渡辺豊博(都留文科大教授) ISBN 978-4-86110-229-5 ￥1500

三島のジャンボさん―ミスター・グラウンドワーク 渡辺豊博(都留文科大教授) ISBN 978-4-86110-233-2 ￥1429

失敗しないNPO―グラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ 渡辺豊博(都留文科大教授) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ￥1500

英国発クラウドワーク―「新しい公共」を実現するために 渡辺豊博・松下重雄(金沢大学准教授) ISBN 978-4-86110-232-5 ￥1500

世界遺産の自然と暮らし 今井一郎(関西学院大学教授) ISBN 4-921146-98-5 ￥1905

横浜市立大学新叢書



日中間戦争と中国人文学者―郁達夫、柯靈、陸蠡らめぐって 鈴木正夫(横浜市立大学名誉教授) 殺害された郁達夫。憲兵隊に拘束された柯靈。拘束され行方不明の陸蠡。中国人作家は、日本兵による不自由と闘い、いかに生きたのか？
ISBN 978-4-86110-411-4 ￥3500



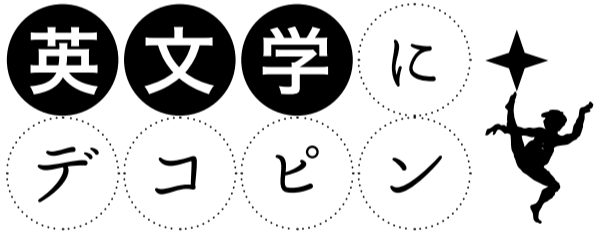
天狼俳句の英訳―誓子・敏雄・綾子 古平隆(横浜市立大学名誉教授) 一句二頁とし、左頁には、俳句、英訳俳句、季語・註を、右頁には、俳人の自註または著者の鑑賞文を掲載。天狼俳句を鑑賞する愉しみを日本語と英語の両方から味わえる一冊。
ISBN 978-4-86110-384-1 ￥3000

過去の再演を越えて―精神的ロール・プレイング 川幡政道(横浜市立大学名誉教授) 演劇的手法で過去を再現する精神的ロール・プレイング。引きこもり、登校拒否などを例に、理論と実践の両面からその可能性を探る。
ISBN 978-4-86110-374-2 ￥3000

読んで楽しむイギリス文学史入門 白井義昭(横浜市立大学名誉教授) 古英語詩「ハーオウルフ」から《Pad》時代のディケンズ《ベス・リークス》まで。豊穡で多彩なイギリス文学を、その背景となる時代・文化と関連づけながら学べる最良のテキスト。
ISBN 978-4-86110-372-8 ￥1500

普仏戦争―籠城のハリ132日 松井道昭(横浜市立大学名誉教授) 戦争は突然やってくる。旧来型の戦争(王朝戦争)から現代型の戦争(国家戦争)への橋渡しとなった普仏戦争の発端から帰結までを詳細にたどり、戦争がもつ偶発性と普遍性を描き出す。
ISBN 978-4-86110-373-5 ￥3000

阿部公彦



2 女難と日陰―トマス・ハーディ

トマス・ハーディは昔から日本でも大人気の作家だ。代表作『テス』には、実に14種類もの翻訳がある。たしかにハーディの作品は、節操なくらいおもしろい。『テス』など、え！え！という展開の連続で、焦らしもたっぷり。勝負どころではグロテスクな場面をつきつける。終わり近くの「天井の染み」など一度読んだら絶対忘れられない。
しかし、ハーディのらしさがほんとは出てくるのは悪名高い最後の作品『日陰者ジュード』かもしれない。読者をあちこちに連れ回す展開はやり過ぎなほどで、そんな小説家の企みが、いわゆる「境界型」を思わせるスーの性格に結実している。スーは主人公でもないのに、小説中では一番目立つ人物だ(記念写真になるといつの間にか真ん中にいるタイプ)。今「あっち」と言ったかと思うと次には「こっち」と言う人で、実に気まぐれ。男性への依存性が強いわりに中途半端に潔癖なところがあり、それが話をややこしくする。主人公のジュードはお人好しだからこの「境界型」の格好の餌食となり、どんどん身を落としてついに病気になる。

ハーディの登場人物は皆重いものを背負う。象徴の種もいろいろある。ただ、何しろストーリーがおもしろすぎ、神経にさざ波が立ちっぱなしのまま。じわっと感動する暇がない。そこがハーディの長所でもあり短所でもある。『ジュード』でもっとも強烈なのは、最初の妻アラベラがらみの場面だろう。はすっぱで育ちの悪い、いつの間にかぐんぐん太っていくアラベラ。ジュードとの結婚が破綻するきっかけの一つは、ジュードが食用の豚もろくに殺せないことだった。可哀想だからひと思いに、などと言うジュードに「少しずつじっくり死なせないと肉に血が残るじゃないか！ 売り物にならないだろ、バカ！」的なことを言って叱咤する。のたうち回って苦しむ豚のど笛を平然と掻き切っておとなしくさせるのもアラベラだ。ああ、恐ろしい。ジュードの人生の先行きが暗示される。日陰者というより、女難の人。ハーディが書きたかったのは、結局はそんな「難」を生む女たちだったのかもしれない。

(英文学者)

立教大学人文叢書

石碑、直筆原稿、楽譜、絵画、写真、などの媒体をテキストとし、人間精神の多彩な働きを考究する横断的人文学の試み。全五巻！

- 1 人文資料学の現在―浦野聡・深津行徳 編著 ISBN 4-86110-063-1 ￥2200
2 文学の基礎レッスン―後藤和彦 編著 ISBN 4-86110-087-9 ￥2200
3 肖像と個性―藤巻明・浦野聡・小嶋菜温子 編著 ISBN 978-4-86110-138-0 ￥2200
4 人文資料学の現在II―菅谷憲典 編著 ISBN 978-4-86110-163-2 ￥2200
5 書簡を読む―桑瀬章二郎 編著 ISBN 978-4-86110-194-6 ￥2200

古代文学史料の中心性と周縁性 立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津行徳・浦野聡 編著 ISBN 4-86110-067-4 ￥3500

東洋英和女学院大学 社会科学叢書



ネット空間を委ねるモバイル社会 東洋英和女学院大学メディア・コミュニケーション研究所 編 震災時における携帯電話の役割、ケータイ小説の流行、ツイッターを活用した選挙運動など、モバイルインターネットの普及がもたらす新時代の諸相を明らかにする。
ISBN 978-4-86110-444-2 ￥2500

グローバルゼーションとリスク社会 岡本浩一(東洋英和女学院大学教授) パトリシア・スウィッセル(東洋英和女学院大学教授) 編 国境を越えて拡散する多様なリスクにどう立ち向かうべきかを示す九編の論考。
ISBN 978-4-86110-403-9 ￥2500

総記・辞典・事典

- 異文化コミュニケーション事典 石井敏・久米昭元(編集代表)／浅井重紀子・伊藤美・久保田真弓・清ルミ・古家聡(編集委員) ISBN 978-4-86110-333-9 ￥7600
ニューシニア下百科事典 ニーシニア下学会 編 ISBN 978-4-86110-111-3 ￥9333
ダンテ神曲原典読解語源辞典《地獄》《煉獄》《天国》 福島治(元東京女子大学教授) ISBN 4-921146-77-2 ★ / 4-921146-78-0 ★ 各巻 ￥46000
現代日本語モダニズム辞典 橋本勝(大阪大学名誉教授)／E・プレブシヤン(モナコ国立科学アカデミー言語学研究所研究員) ISBN 4-921146-33-0 ￥15000
日本の英語辞書と編纂者 愛知大学文学部 書XII 早川勇(愛知大学大学院教授) ISBN 4-86110-064-X ￥6600
スペイン語語源辞典 太田強正(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-332-2 ￥5200





### 英文法は役に立つ!

英語をもっと深く知りたい人のために  
古田直肇 (東洋大学専任講師)

He talks well. y He talks good. 正しいのはどっちか。canの過去形couldは「過去」を表さない? 限られたルールに規範英文法をしつかり身につければ、ネイティブにも太刀打ちできる。本当に「使える」英文法のエッセンスを分かりやすく教えます。  
A5判並製・二〇六頁 定価(本体2000円+税)  
ISBN 978-4-86110-434-3 ¥1905

**フランス語時制論—発話行為のテキスト言語学** 西村淳子 (武蔵大学教授)  
小説、絵本などの物語において、フランス語動詞の時制がどのように作用するかを、実際のテキストにおける語り手や人物の会話から分析。  
ISBN 978-4-86110-447-3 ¥2700

**ジョンソンと「国語」辞典の誕生—十八世紀巨人の名言・金言**  
早川勇 (愛知大学教授) 英文学史上の巨人サミュエル・ジョンソンが九年がかりで完成させた「国語」辞典から、一〇〇〇項目を邦訳。初心者にもわかりやすく辞典の魅力を伝える。  
ISBN 978-4-86110-399-5 ¥2500

**ベル語とティフィナグ文字の基礎—タリ—フット語 (Tarifit) 入門**  
石原忠佳 (創価大学教授) 北アフリカの広い地域に住み、文化的な独自性を維持する民族、ベル語人。その歴史とベル語を学ぶ一冊。世界初の体系的な文法書。音声CD別売。  
ISBN 978-4-86110-394-0 ¥4286

**第二言語学習と個性性—「つぼ」を学ぶ一人ひとりを理解する**  
津田塾大学言語文化研究所言語学習の個別性研究グループ編 母語以外の言語を習得する過程がなぜ異なるのか。出身国、年齢、目的等の多様性にどう対応するかを実証的に探求。  
ISBN 4-86110-065-8 ¥1600

**Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II: What UG Should be Like in the Context of Plato's and Darwin's Problems**  
鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授) 普遍文法を進化の観点からとらえ、チョムスキーの「強い極小主義的テーゼ」を探る。  
ISBN 978-4-86110-300-1 ¥6667

**L'interaction Exolingue : Analyse de Phenomenes Metallinguistiques** 石川文也 (立教大学教授)  
ISBN 4-921146-59-4 ¥8476

**La transmission des savoirs : une analyse dynamique du discours** 石川文也 (立教大学教授)  
ISBN 978-4-86110-302-5 ¥5224

**「俗語」から「国家語」へ—スペイン黄金世紀の言語思想史** 岡本信照 (京都外国語大学教授)  
ISBN 978-4-86110-291-2 ¥3333

**言ひなし発話の解釈理論—「会話目的達成スキーマ」による展開** 萩原雅佳子 (明海大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-160-1 ¥4381

**ビジネスドイツ語—レター&Eメールの書き方と例文** 石居龍一 (コンサルタント)  
ISBN 978-4-86110-377-3 ¥1905

**英語教育の実践—日本人のための英語学習論** 小谷悠紀子 (東京電機大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-364-3 ¥3800

**フェイス相互作用理論—日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークをとらえる** 横溝環 ISBN 978-4-86110-286-8 ¥4667

**啓蒙思想下のジョンソン辞書—知の集成を指して** 早川勇 (愛知大学教授)  
ISBN 978-4-86110-380-3 ¥5000

**英単語のいさち** 早川勇 (愛知大学教授)  
ISBN 978-4-86110-217-2 ¥1800

**英語のルーツ** 唐澤一友 (駒澤大学教授)  
ISBN 978-4-86110-283-7 ¥2000

**Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition** 伊庭緑 (甲南大学教授)  
ISBN 978-4-86110-235-6 ¥4600

**Languages and Language Policies In Insular Southeast Asia** 河原俊昭 (京都光華女子大学教授)  
ISBN 4-921146-64-0 ¥5950

**Indigenous Languages Revitalized?** 松原好次 (元電気通信大学教授)  
ISBN 4-921146-15-2 ¥5524

**はじめての論文—語用論的視点で調査・研究する** 田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 4-86110-349-0 ¥1800

**The Pragmatics of Uncertainty** 田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 4-921146-22-5 ¥5333

**フラグマティクス・ワークショップ—身のまわりの言葉を語用論的に見る** 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-073-9 ¥1800



### コモン・グッドのための歴史教育

社会的文化的アプローチ  
——社会文化的アプローチ  
リンダ・S・レヴスティク／キース・C・パットン 著／渡部電也 (東京五五大学准教授)・草原和博 (広島大学教授)・田口紘子 (鹿児島大学准教授)・田中伸 (岐阜大学准教授) 訳

歴史教育にかかわる全ての人に、子どもたちが社会に参画してゆくために、小学校から高校までの歴史の授業で何ができるのか。アメリカや北アイルランドなどを例に、多様性を受け入れつつ民主主義に参加するための歴史教育のあり方を問い直す。米国気鋭の教育学者たちによる著書、本邦初訳!  
A5判上製・四九六頁 定価(本体6000円+税) ISBN 978-4-86110-445-9 ¥2667

**キリスト教人格教育論—個人の尊厳を見つめて** 吉岡良昌 (東洋英和女学院大学教授)  
すべての教育は個人の尊厳を基盤とするべきであり、その実践にはキリスト教の人間理解と価値観が不可欠であることを、デカルト、内村鑑三などに触れながら立証する。  
ISBN 978-4-86110-417-6 ¥2300

**アメリカ教育福祉社会史序説—ビジネスマン・ティーチャーとその時代** 倉石一郎 (京都大学准教授) 不登校や貧困、差別などで学校教育から置き去りにされた子どもたちへのケアが確立していかなかった時代、彼らの救済・支援に奔走したビジネスマン・ティーチャーの記録。ISBN 978-4-86110-416-9 ¥3000

**ワークシートで学ぶ 生徒指導・進路指導の理論と方法** 林尚示 (東京学芸大学准教授)・服部伴文・村木見 (生徒指導提要) の理解を促す、教職を目指す学生のための生徒指導の入門書。小・中・高のキャリア教育にも踏み込む。ISBN 978-4-86110-355-1 ¥2000

### 心理

**自由と尊厳を超えて** B・F・スキナー 著／山形浩生 訳  
行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえした名著、待望の新訳!  
ISBN 978-4-86110-341-4 ¥2381

**スピリチュアル心理学入門** 石川勇一 (相模女子大学教授) 臨床心理学とスピリチュアリティをつなぐ。精神分析、森田療法、トランスパーソナル心理学、中医学、アーユルヴェーダ、瞑想など、厳選された項目をやさしく解説する画期的な入門書!  
ISBN 978-4-86110-179-3 ¥2095

**魂のかけら—ある物理学者の神秘体験** 佐川邦夫  
ISBN 978-4-86110-095-6 ¥1800

**環境心理学—環境デザインへのパースペクティブ 植究 (実践女子大学教授)**  
ISBN 4-86110-010-0 ¥2286

**ロール・プレイング—即興劇による人間の探求と治療** 川幡政道 (横浜国立大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-155-7 ¥2281

**見捨てられる不安—家族と社会の現在** 川幡政道 (横浜国立大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-158-8 ¥2200

**コロロトリゼン** 佐賀枝夏文 (大谷大学教授)  
ISBN 978-4-86110-282-0 ¥1300

**看護ケアと共感的理解** 尺度の開発とコミュニケーションスキル  
永野ひろ子 (カワセラー) 医療がどれだけ発達しても、看護の基本は人間関係にある。患者への共感的理解度を客観的に測定し、相手の視点に立つための接し方を提案。  
ISBN 978-4-86110-307-0 ¥2667

### 音楽と古書

たけうま書房店主 稲垣篤哉



古書店仲間から譲り受けたという、古めかしいトランクケースの前に小さく座って、ゆっくりと言葉を探るように稲垣さんは古書店を始めることになった経緯を話してくれた。「不忍ブックストリートで定期的にかかれる一箱古本市ってというのがあって、それに何回か出ていううちにおもしろいと感じるようになって…」

東京の東側、谷中・根津・千駄木を走る「不忍通り」の周辺には个性的な新刊書店や古書店があり、その界隈を指して「不忍ブックストリート」という。そこで開催される「一箱古本市」とは読んで字のごとく、段ボール箱一つに古書を収め、出店者はその日限りの古書店主となるイベントだ。稲垣さんは2007年の初出店以降、かつて『ミュージック・マガジン』を愛読していた趣味をいかに発揮させ、毎回奇抜なコンセプトで出店し(細野晴臣、ジョン・ケージとキノコ、ムCD [虫に関するCD]…etc)、お客さんと交流する楽しさに目覚めた。

大学を卒業し、実家がある横浜で就職をした後は、2005年ごろから副業としてネットで古本を販売していた。転々と職が変わることはあっても、小さいころから好きだった本と音楽を通して、伊勢佐木町の文化を支える人たちと仲を深めた。一箱古本市での経験もあって、古書店開店を意識し始め、2012年にはその準備と勉強のために神奈川古書組合に加盟し、開店の機運は高まっていた。

そして同年、満を持して20代のころからの遊び場であった黄金町に、古本市時代の屋号のまま「たけうま書房」をオープンさせた(ちなみに「たけうま」は、「篤哉」の「篤」を上下に分けたことによる)。

開店以後、ちょこちょこイベントも開くようになり、昨年末の「日本のポータブルレコードプレーヤー展」では、「コロムビア」などのレコード会社で働いていた人も来店し、盛況を博した。

これからやってみみたいことについて尋ねると、イベントはふだん使わない神経を使うから大変です、と困ったような顔で微笑みながらも、もっとイベントの回数を増やし、古本やレコードといったアナログのおもしろさを若い人たちに伝えることができたらと語った。

「ネイティブ」とよばれる日本語教師―海外で教える母語話者日本語教師の資質を問う

変革的知識人としての教師―批判的教授法の学びに向けて

教師のゲートキーピング―主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けて

言語教育とアイデンティティ―こはの教育実践と可能性

私ほどのような教育実践をめざすのか―言語教育とアイデンティティ

子どもへの心にとく授業―三重県桑名市立藤が丘小学校における六年

日中教育対話

教育学研究と教育改革の現状と課題

黄済先生米寿記念論文集

新たな対話への発展・深化を求め

労働声(首都師範大学教授) / 山崎高哉(大阪総合保育大学学長・京都大学名誉教授) 共編

海峽を越えて―京畿高等女学校の思い出

母の愛が奇跡を生む―発達遅れに挑むライニング・ボックス学習法

教師再生―石川県公立中学校における授業実践から

戦前 感化・教護実践史

昭和戦前期の少年教護実践史(上・下)

新版 生涯学習と地域社会教育

学心を開くNIE―新聞を使ってどう教えるか

ホストモダンの自由管理教育―スキソ・キツズからマルチ・キツズへ

竹内レズン―ライブ・アット大阪

いのちを育む教育学

実感から関係化へ―ある重度重複障害者と関わり

斎藤喜博研究の現在

新版 教師養成教育の探究

教育の経済―成り立ちと課題

増補「いい子」の非行―家裁の非行臨床から

幼児キャンプ―雪の体験

山梨幼児野外教育研究会 監修

先生、いのちのことを教えて―引き揚げから養護教諭へ 引地ユリ

日本における外国人留学生と留学生教育

鈴木洋子(昭和女子大学特命教授)

作法学の誕生

山根一郎(福山女子大学教授)

山根一郎(福山女子大学教授)

山根一郎(福山女子大学教授)

山根一郎(福山女子大学教授)

ポストモダンの処方箋

15 リベラルという名のゴロツキ 白井聡

いま巷では、古賀茂明氏のTV番組(ニュースステーション)での発言が話題となっている。同番組でISによる邦人人質事件への日本政府の対応を激しく批判した古賀氏と同番組に対し、首相官邸(官房長官)から強い批判・圧力があり、それにより2015年3月をもって古賀氏は同番組コメンテーターから降板させられることとなった旨を、生放送中に同氏は暴露したのである。

政治・経済

近代政治思想の基礎―ルネッサンス、宗教改革の時代

増補「いい子」の非行―家裁の非行臨床から

幼児キャンプ―雪の体験

山梨幼児野外教育研究会 監修

先生、いのちのことを教えて―引き揚げから養護教諭へ 引地ユリ

日本における外国人留学生と留学生教育

鈴木洋子(昭和女子大学特命教授)

作法学の誕生

世界金融危機 日中の対話―円・人民元・アジア通貨金融協力

党人 河野二郎―最後の十年

戦争の読みかた―グローバル・テロと帝国の時代に

生命の経済学―生物学による経済学再構築

富森慶児(北海道大学名誉教授) 経済とは人間の「いのちの営み」である

島岡光一(埼玉大学名誉教授) 編著 現代の希薄な人間関係に警鐘を鳴らす著者が、南インドで体験したコミュニティーの団結力に経済の原点を見る

島岡光一(埼玉大学名誉教授) 編著 現代の希薄な人間関係に警鐘を鳴らす著者が、南インドで体験したコミュニティーの団結力に経済の原点を見る

島岡光一(埼玉大学名誉教授) 編著 現代の希薄な人間関係に警鐘を鳴らす著者が、南インドで体験したコミュニティーの団結力に経済の原点を見る



### 変容するテレビニュースとキャスターの役割

深澤弘樹 (駒澤大学准教授)

インターネット時代におけるテレビニュースのあり方とは？ 放送内容の分析や、キャスターへのインタビューから「作られる」ニュースの現状を考察。元キャスターがテレビニュースの変遷をたどり、テレビならではのジャーナリズムの可能性を探る。  
四六判上製・三六頁 定価 (3400円+税)  
ISBN 978-4-86110-432-9

### 米国の沖縄占領と情報政策

吉本秀子 (山口県立大学准教授)

沖縄占領とは？ 米占領下の沖縄で住民統治を担った米軍政府と米民政府が実施した広報活動の実態を明示。現代の情報社会に潜在する政治的宣伝と軍事的宣伝の問題を考察するための事例を提示する。  
A5判上製・四〇〇頁 定価 (6500円+税)  
ISBN 978-4-86110-451-0



### 地域と越境―「共生」の社会経済史

内田日出海 (成蹊大学教授)・谷澤毅 (長崎県立大学教授)・松村岳志 (大東文化大学教授) 編  
ヨーロッパ、ロシア、アジアの各地域で、国家の枠組みを越えて生きた越境者の生活史・経済史をみる、刺激的な論集。  
ISBN 978-4-86110-407-7 ¥3500

### 不思議フランス 魅惑の謎

藤野敦子 (京都産業大学教授) 日本人女性研究者が見た仏日の恋愛観・結婚観から、仕事観・宗教観、死生観まで。今の社会は、私たちが幸せにするのか？ フランスの「不思議」から日本の「明日」を考える。  
ISBN 978-4-86110-401-5 ¥1800

### マーケティング・デモクラシー―世論と向き合う現代米政治の戦略技術

平林紀子 (埼玉大学教授) クリントン、ブッシュ、オバマ政権が実践してきたマーケティング手法は、民主政治の新たな希望となりうるか。日本導入事例についても述べる。  
ISBN 978-4-86110-387-2 ¥4600

### グレゴリオ・デ・セスヘス―スペイン人宣教師が見た朝鮮と文禄・慶長の役

朴哲 (韓国外国語大学校長) 著／谷口智子 (愛知県立大学准教授) 訳 キリシタン大名たちとの親交など、貴重な書簡をもとに、時代の渦に呑まれた宣教師の姿を浮き彫りにする！  
ISBN 978-4-86110-366-7 ¥4600

多文化組織の日本人リーダー像―ライフストーリー・インタビューからのアプローチ  
石黒武人 (順天堂大学准教授) 多文化組織でリーダーとして活躍する日本人の、傾向と問題点とは何か？ 英会話学校での調査をもとに對話的構築主義の見地から明らかにする。  
ISBN 978-4-86110-322-3 ¥3000

前川教授の人生、血液型。―血液型が信じられる34の理由 前川輝光 (亜細亜大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-396-4 ¥1500

中島岳志 (北海道大学准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-227-1 ¥1800

越境者の世界史―奴隷・移住者・混血者  
弘末雅士 (立教大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-386-5 ¥2500

変容する冷戦後の世界―ヨーロッパのリパブリック・デモクラシー 永松雄彦・萬田悦生 編  
ISBN 978-4-86110-224-0 ¥2381

空間のエスノグラフィ―文化を横断する  
川床靖子 (大東文化大学准教授) 著  
ISBN 978-4-86110-367-4 ¥2700

学習のエスノグラフィ―タンザニア、ネパール、日本の仕事場と学校をフィールドワークする 川床靖子 著  
ISBN 978-4-86110-113-7 ¥2381

頭山満と近代日本  
大川周明著／中島岳志編・解説  
ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200

「敵国語」ジャーナリズム―日米開戦とアメリカの日本語新聞 水野剛也 (東洋大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-258-5 ¥5200

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム―リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦水野剛也 著  
ISBN 4-86110-038-0 ¥4600

中心と周縁―タイ、天草、シカゴ 佐久間美穂 (山村学園女子大学講師)・内藤辰美 (山形大学准教授) 著  
ISBN 978-4-86110-369-8 ¥3500

1920年代の日本と国際関係―混沌を越えて「新しい秩序」へ 杉田米行 (大阪大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500

ネットワーク社会と空間のポリティクス―都市・モダン・グローバリゼーション 大澤善信 著  
ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

頭山満と近代日本  
大川周明著／中島岳志編・解説  
ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200

ブラジルの都市問題―貧困と格差を越えて 住田育法 (京都外国語大学教授) 監修  
ISBN 978-4-86110-173-1 ¥3619

フランス革命を旅したイギリス人―リクビー博士の書簡より エリクビー著／川分圭子 (京都府立大学教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-171-7 ¥2381

貧困をどのように捉えるか―H・ガンスの貧困論 西村貴直 (関東学院大学准教授) 著  
ISBN 978-4-86110-343-8 ¥3333

黒人差別と国民国家―アメリカ・南アメリカ・ブラジル A・W・マックス著／富野・岩野・伊藤訳  
ISBN 978-4-86110-107-6 ¥6190

イングランドの地名―起源と歴史を訪ねて K・キヤメロン著／吉見昭徳 (明治学院大学准教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286

ラルテ・ウェトラリアー17世紀初頭のガラス製造術 アントニオ・ネリ著／日本ガラス工業学会編  
ISBN 978-4-86110-131-1 ¥5000

表象のウェネツィア―詩と美と悪魔 鳥越輝昭 (神奈川大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800

1ファンとイスラム―文化と伝統を知る 森茂男 (元大阪大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-215-8 ¥2381

旅する対話―ティラスボラ・戦争・再生 姜信子 (作家)・ザラ・イマーエワ (映像作家) 著  
ISBN 978-4-86110-350-6 ¥1800

現在と性をめぐる6つの試論―言語・社会・文学からのアプローチ 小玉亮子 (お茶の水女子大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-177-5 ¥1800

太平洋問題調査会「1925〜1969」とその時代 山岡道男 (早稲田大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-211-0 ¥4600

アイズ・オン・エイズ―開発援助における感染症対策 成田弘成 (桜花学園大学教授) 編  
ISBN 978-4-86110-150-2 ¥2667

聖地と祈りの宗教社会学―巡礼ツーリズムが生み出す共同性 岡本亮輔 (北海道大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-315-5 ¥5000

サステイナブルな社会を目指して 木村武史 (筑波大学准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-141-0 ¥2381

17社会の護身術 佐藤佳弘 (情報文化総合研究所所長) 著  
ISBN 978-4-86110-204-2 ¥2095

ガラスの文明史 黒川高明 (元日本ガラス工業学会理事) 著  
ISBN 978-4-86110-172-4 ¥4762

ブルシエンシャフト成立史―ドイツ「学生結社」の歴史と意義 菅野瑞治也 (京都外国語大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-304-9 ¥4200

移行期ロシアの繊維産業―ソビエト軽工業の崩壊と再編 藤原克美 (大阪大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-317-9 ¥4000

インターネット文化の諸相―グローバル化を生きぬく知的戦略 若林一平 (元文教大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-267-7 ¥3333

マスメディア論―現場と社説と地方紙と 大西正行 (十文字学園女子大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-228-8 ¥1800

グローバリゼーション、市民権、都市―ヘクシスの社会学 岩永真治 (明治学院大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-140-3 ¥3333

国際社会学の実践 国家移民・NGO・ソーシャルビジネス 三橋利光 (東洋英和女学院大学准教授) 著  
ISBN 978-4-86110-263-9 ¥2381

国際社会学の挑戦―個人と地球社会をつなぐために 三橋利光 (東洋英和女学院大学准教授) 著  
ISBN 978-4-86110-142-7 ¥2381

ブルマーはなぜ消えたのか 中嶋聡 (医師) 著  
ISBN 978-4-86110-103-8 ¥1300

19歳のライフデザイン 江戸川大学ライフデザイン学科編  
ISBN 978-4-86110-125-0 ¥1429

離婚の誕生―離婚供に込められた対の豊穡 皆川美恵子 (元十文字学園女子大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-425-1 ¥2200

ペリーと黒船祭―日米文化交流史 佐伯千鶴 (北アラバマ大学准教授) 著  
ISBN 978-4-86110-423-7 ¥4900

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナッペイ著／藤野成爾訳  
ISBN 978-4-86110-413-8 ¥1800

「敵国語」ジャーナリズム―日米開戦とアメリカの日本語新聞 水野剛也 (東洋大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-258-5 ¥5200

マーケティング・デモクラシー―世論と向き合う現代米政治の戦略技術 平林紀子 (埼玉大学教授) 著  
ISBN 978-4-86110-387-2 ¥4600

グレゴリオ・デ・セスヘス―スペイン人宣教師が見た朝鮮と文禄・慶長の役 朴哲 (韓国外国語大学校長) 著  
ISBN 978-4-86110-366-7 ¥4600

### 本屋に行こう

山陽堂書店 〒107-0061 東京都港区北青山3-5-22  
TEL 03-3401-1309 <http://sanyodo-shoten.co.jp>



### なぜか落ち着く都会の本屋さん

トレンドな街・表参道で創業124年目を迎える山陽堂書店。画家・谷内六郎さんのタイル画が施された小さなビルが、現代的な街並みの中で目立つ。ほがらかなオーラの4代目店長・遠山秀子さんにお話を伺った。

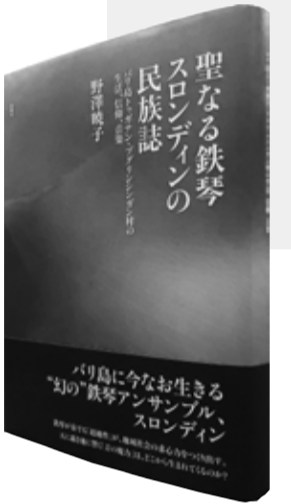
青山通り沿いの壁は一面が窓。半地下から中二階には本のための飾り棚、螺旋階段を上ってゆくと小さなギャラリー。まるで映画に出てくるような空間だが、なぜか落ち着く。「でしょ？」という遠山さんは、13歳のころからお店に立つ。時代の変化をみて一念発起、2011年に書店スペースの半分をギャラリーにして、そのぶん本は厳選するようになった。土地が需要のある広告・ファッション関係や、雑誌、文庫がメインで、店内は整然としている。

不思議と売れてゆくのは、遠山さんたちが気合いを入れて選んだ本。「売りたい！」と思ったら100冊単位で注文して売り切ることもあるというからカッコいい。「お店に合うよ」とお客さんがすすめてくれた本も結構あり、「お客さまも店の棚を作ってくれます」。

取材当日は安西水丸さんの回顧展が開催されていたが、出会いは「本」が見つないでくれた。常連だった編集者が遠山さんから相談を受け、水丸さんを紹介してくれたのだ。水丸さんはその後何度もここで個展を開き、イラスト塾を開講するまでに。その後もイベントや個展の予定が決まっていたのは全て「本」と「人」のおかげだと彼女はいう。本を手取る人にさりげなく「それはサイン入りですよ」と声をかけたり、レジ前で常連さんと話したり。本と人が集まるのがわかる気がする。

### BOOKSTORE

人類学



聖なる鉄琴スロンディンの民族誌

野澤暁子 (名古屋大学博士研究員)
パリ島先住民村落で「神の音楽」を奏でつづける鉄琴をめぐる民族誌！

A5判上製・三三四頁 定価(4700円+税) ISBN 978-4-86110-440-4

ショー・パフォーマンスが立ち上がる

現代アフリカの若者たちがむすぶ社会関係
大門碧 (京都大学非常勤研究員)

A5判上製・三五五頁 定価(4500円+税) ISBN 978-4-86110-449-7



誰が差別をつくるのか—エチオピアに生きる

吉田早悠里 (名古屋大学特任助教) 農耕民と狩猟民として共存していたカファとマンジヨ。「差異」と「忌避」はなぜ「差別」「被差別」の関係にすり替わってしまったのか？

インカ帝国の成立—先スペイン期アンデスの社会動態と構造 渡部森哉 (南山大学准教授) ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

Social Development, Culture, and Participation: Toward theorizing endogenous development in Tanzania

阪本公美子 (宇都宮大学准教授)
フィールドワークで得た市民の声と自然・文化の多角的分析をもとに内発的発展のあり方を探る。

タワータンザニア、反乱と治療をもたらず謎の概念 岩崎明子 (人類学者) ISBN 978-4-86110-382-7 ¥3333

増殖するシャーマン—モンゴル・ブリアートのシャーマニズムとエスニシティ

島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-299-8 ¥7500

エコツーリズムの民族誌—北タイ山地民力への生活世界 須永和博 (獨協大学准教授) ISBN 978-4-86110-327-8 ¥4600

3 宗教の人類学

吉田匡典・石井美保・花湖馨也 編 「理解しがたいのに、わたしたちに影のように寄り添っている」宗教を解きほぐす。改宗、顕示的消費、憑依、呪物、アニミズムなどをフィールドから得た知見をもとに論じる。

「精霊の仕業」と「人の仕業」—ホルネオ島カリス社会における災い解釈と対処法 奥野克巳 (立教大学准教授) ISBN 4-86110-000-3 ¥6476

4 アジアの人類学

片岡樹・シンジルト・山田仁史 編 アジアの捉え方、フィールドワーク論から始まり、「焼畑」「牧畜」「狩猟採集・漁撈」「モノ」「親族・ネットワーク」「ヨーロッパの中のアジア」など、人類学の視点でアジアを捉える。

グエトナム—変化する医療と儀礼 板垣明美 (横浜国立大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

刊行予定

特別企画
アンドレ・バザン—映画を信じた男 野崎敬
おうすいポケット 新井興遠語録抄
三浦衛、コールドニエル 編 (近刊)
コミュニティ事典 編集委員 橋本和孝、長谷部弘、日高昭夫、伊藤守、小泉秀樹、似田貝香門、三本松政之、吉原直樹 (二〇一六年秋)

▼西田哲学から聖霊神学へ 小野寺功 ▼京都学派の歴史哲学 小野寺功 ▼新版・大地の哲学 小野寺功 ▼哲学 はじめの一步 立正大学文学部哲学科編 ▼楚文僑の研究 岩松浅夫 ▼よく生きるための死生観 岩崎大 ▼エコ・ファンタジー 東洋大学編 ▼越境する方法 村上勝三他 ▼教えることの哲学 小澤喬司 ▼カントの管澤龍文、中澤武、山根雄一郎訳 ▼カントの人権思想 菅沢龍文 ▼デカルトによる修練の哲学 津崎良典 ▼古代ギリシアの死生観 木原志乃 ▼法華経諺解(上) 河瀬幸夫 ▼思想家としての石橋湛山 山口正 ▼哲学的断章 北岡崇 ▼朝鮮儒学の巨匠たち 片岡龍監訳、林福美訳 ▼現代アジアの宗教 藤本透子編 ▼ブルー・マルクス 庭園の美学 荒井芳廣訳 ▼「女の子」という運動 田丸理砂 ▼美しき汚れ 吉本和弘 ▼幻想と怪奇II 下桶昌哉・東藤夫編 ▼キャサリン・マンズフィールドを読む 手塚裕子 ▼自然詩のゆくえ ペーター・フェル 土屋洋二 ▼エイズ 奥田良二 ▼Contemporary Irish Plays 佐竹晶子 ▼ポール・ボウルズ論 外山健二 ▼ポライトネス再考 笹川洋子 ▼帝国と文化 江藤秀一編 ▼「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子 ▼左伝の女たち 尾崎保子 ▼荒野へII 中井農 ▼文学という名の愉楽 寒江江光徳 ▼一人の詩人と二人の画家 D・H・ロレンス回想録 木村公一、倉田雅美、伊藤芳子訳 ▼同行二神三浦衛 ▼オール・アバウト・ラブ 宮本啓子 ▼大塚由美子訳 ▼父のアルバム 田中典子 ▼いないも同然だった少年 桑原隆行訳 ▼母 立松昇一訳 ▼アグリアスに魅せられて 大月和彦 ▼深田晋一 ▼フランス語名詞活用辞典 石川三千夫 ▼英語の名詞をきわめる 小林悦雄 ▼英語と開発 松原好次他訳 ▼暮らしの日本語(スベイン語版) 長谷川哲子 ▼暗記嫌いのためのロジカル英語入門 佐藤美弥子 ▼ベトナム語母語話者のための日本語教育 松田真希子 ▼日本統治下台湾の教育認識 吳宏明 ▼みなし子を育てたシスター 菊池章太 ▼自律のための教育学 大川洋 ▼世界初 市民性教育の国家規模プログラム 渡部電也訳 ▼難刀と学校教育 井上アヤ子 ▼野の学校 佐々木光郎 ▼現代中東政治学 末近浩太 ▼中国興業銀行の崩壊とその再建 篠永章孝 ▼マーケティング戦略構築 鈴木宏衛 ▼経済学入門 木下富夫 ▼社会的システム理論の軌跡 赤堀三郎 ▼北の商都「小樽」の近代 内藤辰美 ▼エッセイ風都市社会学 古瀬祐一 ▼イラン人とは誰のことか 八尾師誠、坂梨祥、斎藤正道訳 ▼北朝鮮の思い出の記録 浅井

亜紀子 ▼韓国の地方民家 佐々木史郎 ▼歴史教科書とナショナリズム 原口健二 ▼宝は田から 佐野賢治 ▼岸清一物語 古城庸夫 ▼敗戦・憂国・東京オリンピック 洪潤杓 ▼盆栽 川崎仁美 ▼輪郭のない自画像 松本研一 ▼テレビニュースとジェンダー 小林直美 ▼増補改訂器としての身体 三上賀代 ▼ケニヤに架けた虹の橋 八木宏子 ▼インド・剥き出しの世界 田中雅一編 ▼フォークロアからの転回 小長谷英代 ▼改訂版 21世紀の社会認識に向けて 薩山雅博 ▼東南アジア考古学事典 菊池誠二他編 ▼カンボジア国際共同研究 牧野冬生他 ▼パプアニューギニアの華人 市川哲 ▼トルコ文化遺産 田中英資 ▼建築人類学 牧野冬生 ▼途上と目的地 土井清美 ▼アフリカ研究と文化人類学 関谷雄一 ▼生老病死の人類学 浮ヶ谷幸代 ▼実践と感情 関根久雄編 ▼Formation of the Mongolian Agricultural Village Society in Modern China ボルジギン・ブレンサイン ▼健康自然塾 川村協平 (横浜市立大学新書)

春風掙人

昨年九月に弊社は十五周年を迎えました。記念パーティーの席上、「東北をきく」と題し詩人の佐々木幹郎さんが講演してくださいました。引きつづき二代目高橋竹山さんの東北民謡と三味線の公演。共に内容がすばらしく、民謡はCDでお聴き願うとして、講演は、弊社の今後を示唆しているようでもあり、紙上にてご披露いたします。「きく」は「聞く」「聴く」であり、また「利く」「効く」でもあります。パーティーを楽しみにしておられた工藤正三先生は、先年惜しくもお亡くなりになりましたが、奥様が贈ってくださった銘酒十四代をきき酒し舌鼓を打った人は少なくなく、皆様、二十周年でまたお会いしましょう！